見中・磐田南高等学校 同窓会だより

第41号
発行日
令和元年10月10日
発行者
見中・磐田南高等学校同窓会
発行責任者：浅羽　浩
印　刷
株式会社 大進堂
同窓会ホームページ
http://bannan-dousoukai.com

〝校舎改築　現敷地内で〟
2022年度完成の予定

県議会2月定例会において、母校校舎の基本設計費が上程可決された。このことにより、長年に亘り懸案であった校舎改築が大きく前進することになった。

現校舎　上空より撮影（2010年10月）

校舎のうち北棟の一部は昭和37年9月竣工で築後57年が経過し、最も新しい南棟の一部も昭和47年3月竣工で既に47年が経過している。

1990年代以降、東海地震切迫説が広まり、校舎等の耐震診断が一斉に実施された。診断結果を踏まえ、同窓会は1999年1月、県当局に早期改築・耐震補強工事を要望した。現在地での改築は課題ありとする県からの回答を踏まえ、2000年2月に開催された臨時評議員会では、遠江国分寺特別史跡追加指定区域にあるため、現校舎位置への改築は不可能であり、運動場も狭小となるため教育活動に極めて深刻な支障を来たすとして、「移転やむなし」の苦渋の判断をした。

同窓会は、その後も2001年4月に文化庁に対して、「埋蔵文化財に配慮しつつ、伽藍域やその周辺域の校舎としての活用について再考いただきたい」等の要望書を提出するなど、現在地での改築の道を模索し続けた。

県は、地震対策の緊急性や財政状況等を踏まえ、耐震補強工事により当面の安全を確保し今日に至っている。しかしながら、老朽化に伴う雨漏り等は年々深刻さを増し、校舎改築は母校の最大の重点懸案事項であり続けてきた。2016年には、学校関係者・歴代同窓会長・現同窓会役員が会合を持ち、現在地での早急な校舎改築が関係者の願いであることを確認し、県教育委員会に改めて要望した。このほど、関係者の尽力により県当局が現在地における校舎全面改築を決定したことは、生徒、教職員、保護者、同窓会関係者にとって大きな喜びである。

本年度中に基本設計を行い、その後、実施設計、建築を経て、順調に進めば創立百周年を迎える2022年度中には新校舎が完成する予定である。しかし、敷地内に国の特別史跡の寺域が広く存在していること等から、校舎配置・グラウンド整備等に様々な制約が予想される。生徒・教職員が一日も早く良好な環境のもと教育に専念できることを期待している。

（編集委員）

総会　盛大に開催
会長「百年史編集委員会」スタートを報告

8月18日(日)、第93回総会・懇親会が磐田グランドホテルで開催され、懇親会には、500名余が参加し旧交を温めた。創立百周年記念事業の一つである、「百年史編集委員会」がスタートしたことが報告された。

＝関連記事2・12面

総会で挨拶する浅羽同窓会長

浅羽同窓会長は挨拶の冒頭で、積年の課題であった母校の校舎改築が現地で実現することになったことを報告し喜びを語った。また、母校が2022（令和4）年に創立百周年を迎えることに触れ、4月27日に委員10名からなる「百年史編集委員会」（委員長：白畑知彦　静岡大学教育学部教授：高28回）を発足させ、準備・調査作業を開始したことを報告した。

また、「史実に基づいた記述であるとともに、同窓生や生徒たちにとって読みやすく、先輩からのメッセージを受け取ることのできる魅力的な校史としたい」と期待を述べた。

会長は、「歴史は発掘するもの」であることに触れ「手元にある資料の提供（貸与）」に協力を呼びかけた。編集委員会の中山正典副委員長も挨拶され、今後の計画を説明し「多くの方に読んでいただける百年史としたい」と抱負を述べた。

事務局では、提供いただいた資料を百年史編集に活用するほか、はぐま会館や校舎等において展示するなどして、在校生・教職員・同窓生等に広く母校の歩みを知っていただく機会を設けたいとしている。

盛大に行われた第93回総会

なお、9月20日には同窓会長を委員長とする「百周年記念事業準備委員会」が発足し本格的な準備作業が始まった。委員会には、記念史部会のほか、式典部会、募金部会、記念事業部会、総務部会が設けられ、教職員・同窓会の連携・協力により準備を進めていくことになる。

百年史編集委員会 聞き取り調査開始

これまで、2回の聞き取り調査が実施された。6月1日には、見中21回生4名（市川恒さん・佐野尚男さん・鈴木雄二さん・高塚武夫さん）から当時の学校生活についてお話を伺った。また、7月6日には、高田岩男さん（高2回）から学徒動員、空襲体験や歴代校長の印象等について興味深いお話を伺った。今後も、月1回程度の調査活動を継続していく予定である。なお、平行して初代校長尾崎楠馬先生の日記・書簡等の整理、解読作業も行なわれている。

（編集委員）

■『百周年史』編集委員

委員長	白畑　知彦	（高28回）	〈静岡大学教育学部教授〉
副委員長	仲川　勝彦	（高16回）	〈同窓会副会長〉
同	中山　正典	（高28回）	〈磐田歴史文書館職員〉
委　員	小林　佳弘	（高 4 回）	〈ぱんぷきん編集長〉
同	平野　吾郎	（高12回）	〈磐田市文化財保護審議会会長〉
同	平野　　徹	（高24回）	〈元旧見付学校職員〉
同	足立洋一郎	（高28回）	〈浜松視覚特別支援学校教諭〉
同	長谷川　智	（高28回）	〈朝日新聞社掛川支局長〉
同	鈴木　正行	（高32回）	〈香川大学教育学部教授〉
同	津川　悟	（高35回）	〈日本経済新聞社編集局次長〉
協力者	松下　夏子	（高61回）	〈資料整理協力員〉
〈事務局〉	永田　淳	（高27回）	〈百周年記念事業準備委員〉
	鈴木　英夫	（高33回）	〈校内幹事代表〉
	芳野　博之	（高35回）	〈図書課長〉

同窓会名簿 2020年11月発行予定
委託業者 ㈱サラトに

同窓会の主要な事業の一つである『同窓会名簿』発行を2020年11月に予定している。

名簿を悪用した事犯が頻発していることや、前回（2015年11月発行）購入見込み部数を下回る実績であったこと等を踏まえ、発行について役員会において慎重に検討を重ねた。

その結果、会員の現況を把握し必要な会員情報を保管・管理・活用していくことは同窓会活動の基盤であること、百周年事業を展開する上で重要な資料となることを確認し、委託業者については、名簿作成業務の実績や信頼度、発行経費の妥当性等の観点から比較考量し、今回は「株式会社サラト」に委託することとした。

今後、予備調査を経て、2020年2月以降、すべての会員に調査ハガキが郵送される予定である。会員の皆様には、名簿への掲載項目（氏名・住所・TEL番号等）について、明確に意思表示していただくことが重要である。価格は4，000円（送料・消費税含む）と前回よりも下げることとした。同窓生にのみ販売する。是非、お買い求めください。

（編集委員）

メインテーマ

ON 新しい時代にスイッチオン

賑やかに懇親会

賑やかな懇親会会場

同窓会総会終了後、同会場で、懇親会が賑やかに開催された。

「ON」をテーマに！

堀内実行委員長挨拶

担当年次（高50回生）の堀内浩平実行委員長は、総会で『ON』という言葉をメインテーマに掲げて、本日までの約2年間、活動して参りました。『ON』とは英語で、つながる・接触する・身につける・軸にするなどの様々な意味がありますが、我々はあえて日本語のオンという響きを大切に考えています。恩師の恩、穏やかな日々の穏、奏でられる音の音、温かさの温、丁寧語の御……。すべてが人生において必要となってくるものばかりで、これらすべてがつながり、新しい時代、明るい未来へとつながっていく。そんな願いを込めて『ON 新しい時代にスイッチオン』というテーマを掲げさせていただきました」と挨拶した。

挨拶する堀内浩平実行委員長

浅羽同窓会長より、卒業後70・60・50年を迎えた同窓生に、記念の金・銀・銅のメダルが授与された。

アトラクションでは、音楽ユニット「カミナリグモ」のメンバー・成瀬篤志さん（高50回）がピアノを激しく、また優しく、演奏した。

フィナーレでは、次期総会・懇親会担当年次（高51回生）の鵜野慎太郎代表に盾が引き継がれた。

（編集委員）

成瀬篤志さん（高50回）

高2回生 同窓会に寄付金贈呈

メダル授与の席上、金メダルを受賞した高2回生から同窓会に感謝の気持ちを込めて、多額の寄付金が贈呈された。（編集委員）

寄付金を贈呈する高2回生

校長ご挨拶　決意新たに

校長　赤塚顕宏

同窓会の皆様には、日頃より、本校の教育活動に御理解・御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、長年の課題となっておりました校舎の改築が県により認められ、設計、建築工事と進み、令和四年度末に校舎が完成する計画であります。学校と皆様の思いがようやく結実し、校舎建築に向け確かな一歩を踏み出したことを、ここにご報告させていただきますとともに、これまでの御支援に厚くお礼申し上げます。

また、令和四年度の学校創立百周年を、これまでの先輩方が築いてくださった輝かしい歴史と良き伝統を在校生がしっかりと受け継ぎ、更なる発展の契機とするため、同窓会の皆様とこれまで以上に連携を図りながら、記念式典、記念事業等の準備を進めていきたいと考えております。

今後とも、受け継がれた「磐南の精神」を教育活動の根本に据え、同窓生の皆様が一層誇れる学校づくりを目指し、全力で努力することをお誓い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

金メダル受賞者　高2回生　16名

代表挨拶の窪野義次さんは、「戴いた金メダルを心の糧に、これからの日々を一日一日大事に生きてゆきたい」と述べた。

銀メダル受賞者　高12回生　25名

代表挨拶の鈴木昭次さんは、「私共は戦中戦後、高度成長期、オイルショック、バブルの崩壊と、正に激動の時代を経験した」と述べた。

銅メダル受賞者　高22回生　32名

代表挨拶の青木敬子さんは、「顔をあわせる時は、ああ、元気でいてくれたと愛おしいような気持ちになる昨今です」と述べた。

令和元年度 慰霊祭を厳粛に挙行

8月18日、午前10時より、はぐま会館にて、浅羽浩同窓会長、赤塚顕宏校長、高41回生の御遺族をはじめ、皆様のご臨席をいただき、しめやかに慰霊祭が挙行された。

この1年間の同窓生物故者78名、志半ばにして他界された高41回生の物故者5名の皆様のご冥福をお祈りし、謹しんで哀悼の意を捧げた。担当年次（高41回生）の小林俊幸実行委員長は、「これからの人生を亡き友の分まで、精一杯歩んでゆきたい」と述べた。浅羽同窓会長は、昭和7年、尾崎先生の熱意と、趣旨に賛同する同窓生の協力により、校庭の一角に招魂碑が建立された経緯を語った。慰霊祭終了後、移動して、招魂碑に献花を行なった。

（編集委員）

献花する小林俊幸実行委員長（前列右）

同窓会役員ら 尾崎校長墓前にて 総会開催報告

8月17日(土)、同窓会長・副会長、本年度総会実行委員長堀内浩平さんほか高50回生代表が見性寺（磐田市見付）を訪れ、初代校長尾崎楠馬先生の墓前にて、母校の現状及び第93回同窓会総会開催を報告した。2020年度の総会担当年次である高51回生代表4名も参列した。

尾崎先生は、大正11年の開校から昭和17年3月まで、二十年の長きに亘り校長を務め、母校の教育の基礎を築かれた。昭和29年2月5日逝去（77歳）。

（編集委員）

訃報

石割　忠夫（第17代校長）
2019年4月26日
御逝去されました。

2019ラグビーワールドカップ・2020東京オリンピック開催
磐南卒業生も活躍しています

本年9月から10月にかけ、ラグビーワールドカップが、来年8月には東京オリンピックが開催されます。2つのビッグイベントの開催に向け、活躍している磐南卒業生を紹介します。

ラグビーワールドカップの試合会場の自治体の担当職員として尽力している石黒さん、競技役員としてオリンピックの競技場に立つ榎本さん、オリンピック開催を祝い、市民運動として盛り上げている大村さんの3人に今の思いを語ってもらいました。

スポーツを「する」立場から「観る」、「支える」立場へ

高41回　石黒克明

2019年、地元エコパではラグビーワールドカップが開催されます。

小さな頃から身体を動かすことが大好きで、南高時代は陸上部に所属。人よりも多少速い走力と、骨太の体格を活かし、静岡大学では教職を学ぶ傍ら、ラグビー部の14番。当時は、鼻の骨折や肩の亜脱臼、真夏の合宿など、苦難の連続でしたが、今となれば、仲間との楽しい思い出ばかりが蘇ります。

市役所への就職後も、クラブチームで数年活動し、その後は楕円のボールも我が家の玄関でオブジェと化しておりました。転機は、2015年のイングランド大会。地元の商工団体が主催する観戦ツアーに個人的に参加し、目の前で日本代表が南アフリカ代表に劇的な勝利を収めたあの瞬間に遭遇したことです。

試合後、「Nice game!」、「You won!」と言って近寄る大柄な南アのファンから握手を求められ、翌日、移動中の電車の中でも、我々を日本人と知った現地の方々から、温かな祝福の言葉を数々いただきました。「ノーサイド」という言葉が持つ意味を改めて実感した瞬間でもありました。

エコパでの観戦を誰よりも楽しみにしていた私に、2年半前に与えられた「試練?」が今の職責。いち早く気持ちを切り替え、今では私の英国での感動を多くの方々に体験いただきたいと、様々なラグビー体験イベントの実施や観戦の奨励に生きがいを感じております。本同窓会だよりの発行の頃には、「兵どもが夢の跡」か。

2020年東京五輪では、エコパで日本と対戦したアイルランドが、次は袋井市にベースキャンプを張って、五輪に臨みます。まだまだ、私の「試練」は続きます。

■プロフィール■
袋井市役所スポーツ政策課　課長補佐兼
ラグビー開催推進室長

2019人ラグビーキックチャレンジ（5月11日）

陸上競技への恩返し

高44回　榎本好孝

磐田南高陸上部にお世話になってから早30年、社会人でも県内クラブチームで競技を続け、現役生活は20年以上に及びました。引退後は母校に赴任し、教職の傍ら陸上界に恩返しをすべく、陸上指導や審判員として活動しています。この度、幸運にも東京オリンピック・パラリンピック競技役員として参加機会をいただきました。本大会は、全国都道府県から集まる審判員で編成されるため、2年前から日本陸上競技連盟指導の下、研修が実施されています。私はスタートチームという部署に所属をしています。役割はトラック競技において選手が時間通りにスタートができるよう選手を誘導すること、スタート姿勢に違反がないかチェックをすることです（ピストルを撃つスターターではありません）。直接選手に接する部署ですが、私の英語コミュニケーション能力は、「おもてなし」と呼べるレベルには程遠く、選手が集中してスタートに臨めるように、さらに英語力を磨かなくてはいけません。研修中は、国際レベルの選手と触れ合う機会に恵まれますが、選手のスタート前の表情やしぐさ、オーラのようなものは圧倒的で、言葉ではいい表せない魅力に満ちています。大会本番でも選手の雰囲気を肌で感じ、彼らのベストパフォーマンスを引き出すべく全身全霊で臨みたいと思います。そしてこの経験を多くの陸上競技関係者に伝え、東京オリ・パラを通じた人的遺産として今後も貢献できたらと考えています。

大会アンバサダーのゲイル・ディバースと

■プロフィール■
静岡県立磐田南高等学校　保健体育　教諭
陸上競技部　顧問
静岡陸上競技協会　審判副委員長

世界リレー・オリンピック競技役員　後列右端が筆者

入場行進の「語り芸」から始まった全国展開のウォーキング

高25回　大村真也

「世界中の秋晴れを一つに集めたような今日の東京の青空です」

私が再現する1964年東京オリンピックの入場行進アナウンス」でユニバーサルウォーキングの幕が開きます。

6年前、日本ウォーキング協会創設者である大学の大先輩から、「大村、オリンピック招致イベントの開会式で、東京五輪の入場行進の語りをやってくれ」と突然の連絡がありました。

「前畑頑張れ」をはじめ、歴史的名場面のアナウンス再現を酒席の芸としていた私をよく知る大先輩からの要請でした。

国立競技場の開会式で、小野喬さんをはじめとする1964の金メダリストたちをバックに、五輪マーチに合わせ、ギリシャから日本まで20か国を抜粋して行進の模様を語りました。

小野喬さんには絶賛いただき、「この語りを2020に向けて活かそう」との周囲の声で、「東京からTOKYOへ全国ユニバーサルウォーキング」が幕を開けました。元聖火ランナーと青少年や障がい者が語らいながらのウォーキングをし、当時の熱い思いを共有し、2020の成功に寄与しようというものであります。各会場では必ず私の入場行進の再現アナウンスで幕を開けます。

事務局長は私。会長、副会長には金メダリストの渡邊長武さん、鶴見修治さんに就任いただいております。

各地に準備委員会ができないと何も進みませんが、東京大田大会、大津びわこ大会を経て、一昨年には念願の浜松大会を浜名湖ガーデンパークにて開催。また、昨年の浜松市ブラジル選手団ホストタウン設立総会も私の語りで幕を開けております。

磐田大会、準備委員会設立を切望しています。

全国ユニバーサルウォーキング浜松大会

■プロフィール■
レイスマネジメントソリューションズ㈱顧問
全国ユニバーサルウォーキングの中央実行委員会事務局長

2020年東京オリンピック聖火リレー
▼
8月24日　磐田ー袋井

卒業生は今

八十路に生きる

高6回　和泉三雄

昭和29年3月卒業の84才を迎え、現在もスナオ電気㈱の代表取締役として会社の運営に努力しています。

南高時代の3年間はカメラ部・卓球部と楽しい日々を過ごして参りましたが、いよいよ社会人として就職を考えた時は戦後10年。復興したとは云え、まだまだ安定したとは云えません。就職を希望した私共は狭き門でしたが、幸いにも私は浜松の染色工場に勤める事が出来ました。当時1日働いて金300円でした。当時の繊維産業は大変な活況時で残業、日曜日出勤等1ヶ月100時間は普通でした。

私には電気に関する仕事への夢があり、チャンスを待って居ました。幸いにも東京の友人からの紹介で電気関係の会社に就職出来ました。5年程勤めた頃タイムスイッチの開発依頼があり、試作に着手し7日程で完成しました。依頼先に納品し試験的に工場内に使用していただき、その後15台の註文をいただきました。独自設計した製品であり、早速特許とカレンダータイマーの商標登録を致しました。このタイマーが契機となり、昭和42年3月1日東京大田区にスナオ電気㈱の設立を致しました。先輩から会社経営の理念として常に大きな目的を持ち、会社経営に努力して下さいとアドバイスをいただきました。

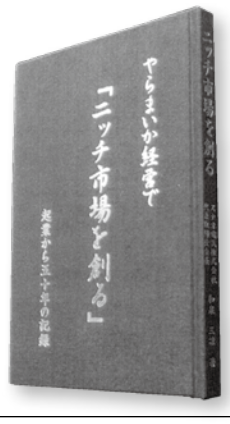
SURPASSING
—優れた技術をもって製品開発
NATIONALITY
—日本国民性を発揮
ORIGINALITY
—独創性のある製品開発

起業の心構えとして3つの言葉を理念として努力の毎日でした。振り返って見れば激動、山あり谷あり、不況時もありました。しかし幸いにも50年と云う会社経営を終え八十路を迎える事は感謝に耐えません。

昨年50周年記念事業の一環として「やらまいか経営で『ニッチ市場を創る』起業から五十年の記録」を刊行致しました。出来る限り客観的にまとめ、誰でも自分の意志で人生を切り拓く喜びが得られる事を訴えたく恥ずかしながら執筆致しました。若い人達が将来に希望を持ち、苦労に立向い、素晴らしい人生を送って欲しいとの願いを込めました。起業を目指す方々に自主独立の道を歩んでいただきたく、生き甲斐と苦労や自己責任が伴いますが、専門メーカーの自主独立経営が醍醐味です。今日の製造業と環境は大きく変化しておりますが常に省エネルギーの技術で社会に貢献して参ります。

最後に感謝として、限定ですが希望の方に記念誌を謹呈させていただきます。

スナオ電気㈱
浜松市東区下石田町1495
TEL053-421-2281
FAX053-422-0988



■プロフィール■
スナオ電気㈱
代表取締役会長

建築との出会い、建築のかたち

高44回　渡辺　隆

高校時代、終業式の日に寄り道をした本屋さんで自転車とカバンと赤点のある成績表を盗まれたことがありました。それはそれで「ラッキー」という感じだったのですが、親切な方が道端に捨てられていたその情けない成績表を見つけて、わざわざ母親に届けてくださって…。そんな無気力学生ですから、将来の目標も当然無く受験結果も散々。唯一合格した大学で建築を学ぶことになりました。

このように建築との出会いはなんとも冴えないものだったのですが、偶然にも性に合っていたようで、以来27年間ずっと建築に関わってきました。

現在は、磐田に渡辺隆建築設計事務所という設計事務所を構え、建築の設計を仕事にし、依頼者の意図や想いを大切に、周辺環境との調和を図りながら、丁寧にかたちにしています。

近年手掛けたプロジェクトは、豊岡地区の公民館「豊岡中央交流センター」、卓球専用アリーナ「磐田卓球場ラリーナ」、ジュビロ磐田のユースの為のクラブハウス「Jubilo Clubhouse・Athlete Center」などです。

「豊岡中央交流センター」は、全長100mの深い軒を持つ切妻屋根と、街路のような沢山の通り抜け通路が特徴的な建築です。誰でも自由に施設内を通過して行き来でき、その道中で施設内で行われている活動を垣間見たり、偶然の出会いがあったり、井戸端会議をしたり…。

豊岡中央交流センター
（第9回　静岡景観賞　最優秀賞（静岡県知事賞）受賞）

「磐田卓球場ラリーナ」は、緩いカーブを描く丘のような屋根が特徴の建築です。屋根の形は公園の環境に馴染むよう、隣接するかぶと塚古墳の丘のラインをなぞったもので、同時に生い茂った木々の落ち葉を受け流す形でもあります。

「Jubilo Clubhouse・Athlete Center」は、上から見るとブーメランのような形をした建築です。この形は、トップチームの練習をより身近に感じることができるよう、カーブを描く練習場に沿って建築を配置した結果です。

建築の形には様々な意味があって、その形が環境を調整したり、人と人を繋げたり、街の賑わいや暮らしの楽しさを生んだり、目標に向かうモチベーションをより高めたり。建築にはそんな魅力あって、その設計はとても刺激的です。

私の考えた「建築のかたち」が魅力的なものになっているかどうか、自分では判断し難いですが、長い時間をかけて磐田の風景として馴染んでいってほしいと願っています。

設計をしていると日々いろいろな難問にもあたります。建築に出会った時の緩さも少しだけ思い出して肩の力を抜きながら、これからも設計していきたいと思います。

■プロフィール■
渡辺隆建築設計事務所代表

仕事と育児の両立

高48回　岩間晴美（旧姓　高橋）

高校時代のいちばんの思い出といえば、2年生の春休みにカリフォルニアのマウンテンビュー高校を訪れたことです。2週間ほどの滞在でしたが、初めて外国の文化や生活にふれ、スタンフォード大学やゴールデンゲートブリッジ、ヨセミテ国立公園なども訪れたりして、とても懐かしい思い出です。

あれから…高校を卒業して20年以上が経ちました。大学卒業後は、地元で働きたいと思い静岡銀行に就職し、今は銀行を出資母体とするシンクタンク、一般財団法人静岡経済研究所に勤務しています。主な仕事は地域の経済や産業などの調査・研究のほか市町や大学などに出向いて講演なども主な専門分野は少子化問題、女性の労働、働き方改革などです。

私自身、現在2児の母として仕事と育児を両立させながら働いていることもあり、女性の労働については、まだまだ課題がたくさんあると感じています。保育園の待機児童問題、小1の壁、ワンオペ育児。どれもニュースでよく耳にする言葉ですが私も経験者のひとりとして切実な問題だと痛感しています。

今、共働き世帯は全体の約7割に上ります。企業が育児休業制度を整えたり国が女性活躍推進法など法律を整備したりして、働く環境は整いつつあると思います。しかし、課題はまだまだたくさんあります。もっと働きやすく、暮らしやすい社会にしていきたいと思いますし、私も微力ながらそうした課題解決に向けたお手伝いができればと思っています。

40代に入り、仕事も育児もますます大変になる一方ですが、子どもたちがもう少し大きくなったら、一緒にマウンテンビューを再訪してみたいです。あの頃と比べてどう変わっているのか、ホストファミリーは覚えているだろうか、子どもたちは米国の文化やシリコンバレーを見て何を感じるのだろうか。そんな思いを抱きつつ、今日も仕事と育児にまい進していきます。

■プロフィール■
一般財団法人静岡経済研究所
主任研究員

大学の研修講義にて

ブラジル音楽に魅せられて

高40回　太田直孝

〝枯葉を踏みしめながら歩くとき私は思いだす／私の学校と仲間（詩人）たちの事を／歌を口ずさみながら何度登ったことだろう／私の学校の丘を／いつも太陽が私を灼いていた／そして私も生涯を終えようとしている／やがて時が告げるだろう／もう歌うことは出来ないと／その時、傍らにあるわが青春のギターを懐かしむことだろう〟

…サンバの詩人ネルソン・カバキーニョの「枯葉」の歌詞です。枯葉と言ってもマンゴーの木の葉、学校もサンバ学校の事なんですが。

私とブラジルの音楽との出会いは高校2年生の頃でした。ラジオから流れていたジョアン・ジルベルト。大きくて寛容的なゆったりとしたボサノバのリズム、ギターの透き通るような響き。外では、灼熱の太陽が照り付ける夏の日だったかもしれません。次第に音楽の世界に魅了されてギターを取っていました。

ショーロと言う音楽をご存知でしょうか。19世紀にブラジルで生まれた器楽で、フルートや、ギターなどの弦楽器、打楽器などで演奏されます。直にショーロを感じて学びたいと、リオデジャネイロに渡りました。開けっぴろげで大らかな愛らしいブラジルの人たち。ショーロはそんな方たちの手によって奏でられる知的で豊かな音楽文化でした。共に音で会話する楽しさやスイングする醍醐味、機微に富んだセンチメンタルなハーモニーとメロディ。ブラジルの音楽から様々な知識と財産を享受することが出来、それが今も続いています。

都内ライブ演奏にて

高校2年の夏に聞いたボサノバから30年の月日が流れていました。音楽を生業でやっていると自分の不出来さや経済的なことなどなど、正直めげてしまうこともありますが、あの夏に聞いたボサノバのリズム、歌を口ずさみながら登った高校の丘を、傍らのギターと一緒に思い出しつつ、日々音楽活動と向き合っています。

■プロフィール■
音楽家、ギタリスト、歌手、ブラジル音楽演奏家

ラオスから磐田へUターン、地元で真の国際人を育てる！

高49回　三田景子

私は大学卒業後の5年間、国際協力団体の一員として東南アジアのラオスに駐在し、小学校建設や母子保健改善プロジェクトに携わりました。ラオス人は、通りすがりにお昼ご飯を分けてくれたり、知らない人でも目があったらにっこり笑ってくれたりと人に優しく、現地では楽しい日々を過ごしました。

一方、駐在中にラオス人の友人や同僚8名が亡くなりました。日本では死に直結しない軽い病気や事故が原因で、途上国の厳しさを目の当たりにしました。さらに、現地で先祖代々守ってきた森を日本企業が伐採する出来事にも遭遇しました。日本企業も悪意があるわけではありません…世界の現状を知る機会や、自分たちの生活にも関係していることに気づく学びの場を作りたいと、帰国後地元で〝国際理解教育〟活動を始めました。教員など有志らと市民団体を立ち上げ、学校等への出張講座や公開講座・イベントを行っています。

紛争、貧困、環境など世界の様々な問題を、ゲームのようなことや話し合いを通じて考える場を作っています。例えば途上国の生産者に配慮した貿易を行う〝フェアトレード〟を学ぶ講座では、「インド綿シャツ」の生産流通を想定し、インド綿栽培農家、日本人商社社員、日本人消費者等の役になって、インド綿農家が農薬で病気になった事例について話し合ったりします。知識を得て終わりではなく、自分に出来る解決行動に繋がることを目指します。参加者の属性や興味関心に合わせ、誰でも楽しめることを意識して内容を構成しています。中学生と80代のベテランさんが笑い合いながら真剣に世界のことを語り合う姿も見られたりします。人と人が思いやりを持ち、コミュニケーションを育む場でもあると感じています。

現在は、地域福祉を考える会や外国人児童支援活動など地域課題にも関わり、活動が広がりを見せています。問題の答えは常に一つではありません。一人ひとり背景の異なる人々が本音で語り、様々な解決の糸口を見つけられる場をこれからも作っていきたいと思います。

ラオスの子供たち

国際理解ワークショップ

■プロフィール■
はままつ国際理解教育ネット事務局長
国際理解教育（開発教育）ファシリテーター

二度目の南極越冬を終えて

高49回　杉山暢昌

みなさま、こんにちは。第59次日本南極地域観測隊で、二度目の越冬をしてきました、高49回卒業の杉山と申します。

59次隊は2018年2月1日に58次隊から観測を引き継ぎ、2019年1月31日まで観測を行い、2月1日に60次隊へ引き継ぎ、3月末に帰国しました。

気象庁に勤務している私は、越冬隊へは、気象庁からの派遣で参加し、気象観測を主な仕事としてきました。国内でも行っている地上気象観測をはじめ、国内では限られたところでしか観測していない高層気象観測やオゾン観測など、多岐にわたる観測を、5人の気象隊員で交代しながら毎日継続して行いました。7年前の52次隊以来二度目の参加でしたので、気象チーフとして、気象観測の統括を受け持ちました。（ちなみに、前回は、地上気象の主担当を受け持ちました。）

また、昭和基地で越冬するのは30人ほどですので、気象観測以外のこともいろいろ行います。建物の建築や内装工事、雪上車の整備など普段の仕事とは全く異なる手伝いをしたり、南極中継などの広報活動をしたり、いろいろな活動を協力して行いました。

その際、自分たちの手で環境を整えることに、磐南と通じるものを感じたりもしました。

さて、自分が南極に興味を持ったきっかけは、小学校に地元にゆかりのある鳥居鉄也さん（元越冬隊長）が講演に見えたことでした。当時は不思議な話、遠い世界の話として聞いた南極の話でしたが、実際にその場に行くと自分がそこにいることに感動しました。南極の自然は壮大で、オーロラをはじめとして美しい姿を見せてくれる一方で、猛烈な吹雪により1m先さえも見えなくなるなどの厳しい一面もありました。自然の厳しさ、美しさ、壮大さなどをとても身近に感じることができました。この南極での経験を、多くの方にお伝えできればと思っています。

最後に、二度目の南極で越冬をするにあたり、様々な方のご支援ご協力、応援をいただきました。心から感謝申し上げます。

■プロフィール■
気象庁入庁
第52次・第59次日本南極地域観測隊（越冬隊）参加

支部活動報告

【関東支部／静岡支部／北遠支部／関西支部／東海支部】

これまでに開催された各支部総会の中から5支部の活動を紹介いたします。

※各記事にて、次回の開催日程等を記載していますので、ご参照ください。

関東支部

本事業年度の関東支部の活動は茨城県立土浦一高訪問から始まりました。見付中学の礎を築かれた初代校長・尾崎楠馬先生と教頭小田原勇先生が運命的な出会いをされた地を、浅羽浩同窓会長を団長に総勢13名で訪問させて頂き、同校副校長をはじめとして同窓会幹事の皆様らと交流させて頂きました。

支部総会・懇親会は、11月10日㈯、大手町の会場に来賓の皆さまも含めまして62名の参加をいただきました。ご参集いただきまして本当にありがとうございました。セミナーでは「磐南の躍進と水球」と題して、20年に渡って水球部の監督をされた丹羽敬人先生に磐南水球部に寄せる想いを熱く語って頂きました。

今年5月には新卒業生歓迎会を開催しましたが、残念ながら新卒業生の参加を得ることができませんでした。新卒業生の皆さんへの連絡方法等に大きな課題を残した歓迎会となりました。また、6月には異業種交流会の2回目を開催しました。まだ小さな催しですが、磐南スタイルの新しい出会いや集まりが生まれることを期待しております。

今年の支部総会・懇親会は、11月9日㈯14時30分からデイ・ナイト大手町店で開催します。大勢の参加をお待ちしています。

（支部長　高23回　加藤　亨）

【連絡先】
090―4955―3688

関東支部総会にて記念撮影。世代を超えた交流を深める

茨城県立土浦一高を訪問する同窓会本部・関東支部役員（2018年10月27日）

静岡支部

静岡支部では、平成30年10月17日㈬にホテルセンチュリー静岡にて、平成30年度静岡支部総会を開催いたしました。

当日は65名が出席、新たに就任された浅羽浩同窓会長、赤塚顕宏校長のご挨拶のあと、議事、百周年記念事業準備委員の永田淳さんの話に続き、中17回鈴木健治さんによる乾杯の音頭で懇親会が始まり、例年以上に賑やかな会となりました。

静岡支部総会は、静岡地区に勤務する同窓生の参加が多く、恒例となりました現役学生も静岡大学から3年生2名が参加してくれ、大いに盛り上がりました。

今年の静岡支部総会は、11月13日㈬18時30分からホテルセンチュリー静岡18階スカイスィートで開催します。

県内中部地区にお住い・お勤めの同窓生の皆さん、学生の皆さん、静岡支部総会に一度参加してみませんか。見中・磐南の同窓のよしみで、交流の輪が拡がること請け合いです。

（支部長　高24回　鈴木一雄）

【連絡先】
090―1561―4067

現役大学生も参加し、交流を深めた総会

北遠支部

支部の活動は、総会を開催し、懇親会にて各世代の交流と情報交換が目的です。平成30年10月20日㈯、場所は二俣栄林寺にて、北遠支部総会、懇親会を実施しました。

新同窓会長 浅羽浩様（高22回卒）、磐田南高等学校長 赤塚顕宏様に、御挨拶して頂きました。また百周年準備委員会の永田淳様（高27回）に、今の編集状況を説明して頂き、衆議院議員 宮澤博行様（高45回）には今の国政の事を、浜松市議会議員 渥美誠様（高24回）には浜松の状況を話して頂き、写真撮影をして、懇親会に入りました。

先輩後輩共々、賑やかに、楽しく歓談し、校歌斉唱をし、来年の再会を誓い閉会しました。

今年の支部総会・懇親会は、10月19日㈯18時から二俣栄林寺にて行いますので、大勢の参加をお待ちしています。

（支部長　高17回　生熊克己）

【連絡先】
053―922―0117

北遠支部総会にて記念撮影。懇親会で来年の再会を誓う

関西支部

平成30年度支部総会は、11月10日㈯大阪綿業会館にて開催されました。しかしながら、諸般の事情により他支部総会と重なり、同窓会長様、校長先生にお越しいただけなかったことは残念でした。幸いにも同窓会と学校側のご配慮により、同窓会副会長仲川勝彦氏、教頭新林章輝氏にご出席いただいたことに感謝いたします。出席者は支部会員7名（高3～28回）と上記2名の9名と少なかったのは残念でした。「出席者7名」は支部の危機的状況だとする指摘もあり、今後の支部運営に関する議論がなされました。

令和元年度の支部総会は、浅羽浩同窓会長様、赤塚顕宏校長先生をお招きし、10月12日㈯正午、支部の存廃を賭けて大阪の綿業会館にて開催予定です。

支部会員の多数の出席を期待しています。

（支部長　高11回　青島敏行）

【連絡先】
077―533―6828

東海支部

大橋正隆支部長（高8回）ご逝去の為、支部報告は割愛させていただきます。

これまでのご功労に敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

支部総会に参加を

今回、活動報告をお寄せくださった5支部以外の、支部総会の日程をお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

掛川・菊川支部
【支部長】中上禮一（高16回）
【連絡先】0537-74-2325
【日　時】令和2年1月11日㈯
【会　場】パレスホテル掛川

豊田支部
【支部長】芥川知孝（高20回）
【連絡先】090-7679-3569
【日　時】令和2年2月9日㈰
【会　場】磐田商工会豊田支所

磐田支部
【支部長】加藤光久（高27回）
【連絡先】0538-37-3726
【日　時】令和2年4月11日㈯
【会　場】磐田グランドホテル

袋井支部
【支部長】木野省三（高21回）
【連絡先】0538-42-3654
【日　時】令和2年7月下旬開催予定
【会　場】袋井市総合センター

浜松支部
【支部長】鈴木裕司（高19回）
【連絡先】053-454-7431（㈱遠州日石/蓮尾）
【日　時】令和元年11月16日㈯ 12時～
【会　場】グランドホテル浜松

静岡県立見付中学校・磐田南高等学校百年物語

労作教育による［充実・発展期（大正～昭和）］環境整備と人間づくりの成果

プール建設（大正15年7月完成）

百周年記念事業準備委員
永田　淳（高27回）

見付中学・磐田南高校百周年記念事業は、2022年に向けて「百年史編集委員会」を立ち上げ、同窓会・校内の準備委員会も9月に動き出しました。

さて、尾崎校長と小田原教頭の労作教育による環境整備と人間づくりの成果は水泳部・陸上競技部の活躍という形で実り始めます。

水泳部の活躍・牧野正蔵世界新記録樹立！

開校当初プールの無かった見中（大正11年4月～15年7月）は磐田郡竜洋町駒場の天竜川河口を水泳訓練の場としていました。50ｍプールが完成した後はプールによる水泳訓練に移行しましたが、尾崎校長・小田原教頭はかねがねこのプールを生かして優れた選手を育てようと考えていたのです。

プール完成以来、上級生を中心に厳しい練習を続けていた水泳部に昭和2年早稲田大学英文出身の小林寛先生が部長として就任し、素人ながらその熱心な指導の下で成果はすぐに現れ始めます。同年県大会で優勝したのを皮切りに、3年間連続して全国大会へ出場するまでになります。

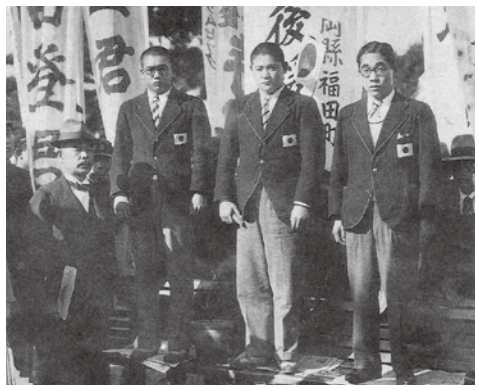
ちょうどその時期に白羽の矢が立ったのが牧野正蔵少年（中7回）でした。牧野正蔵は昭和3年に入学。浜名郡の吉津尋常小学校（現鷲津小学校）で既に頭角を現していた彼に直々に話をしに行ったのは小田原教頭です。吉津尋常小学校の社本校長は、この才能を開花させる上級学校は見付中学校しかないと彼を託しました。

小林先生は、英文書を翻訳し、外国の合理的な泳法を研究し、またＯＢコーチを頼んで各々フォームの研究をさせます。さらには自分の住まいに遠方の水泳部員を下宿させ、寝食を共にして部員の面倒を見る一方で、多くのＯＢが後輩に熱い指導をしました。

牧野正蔵と小林先生（右）

牧野正蔵は練習の虫で、１５６cmの小柄な体にあったハイピッチ泳法を身につけて全国の選手や海外の選手と渡り合います。昭和4年８００、１５００ｍで日本新記録樹立を皮切りに、昭和6年、見中4年時（16歳）に全国中学校水上競技大会８００ｍ自由形で世界新記録を打ち立て、一躍世界で注目されます。翌年、ロサンゼルスオリンピックの１５００ｍ自由形でオリンピック新記録で準優勝をし、生涯で日本新記録25個、世界新記録7個を打ち立てます。

牧野選手に続いて昭和5年福田出身の寺田登が入学し、見中4、5年時には４００ｍ、８００ｍ自由形で優勝し、全国制覇に大きく貢献しました。（昭和11年ベルリンＯＬ．１５００ｍ優勝・慶大）、さらに昭和6年浜松から杉浦重雄が入学し、先輩に続けと2年時から活躍します。（ベルリンＯＬ．８００ｍリレー優勝・早大）昭和6年～昭和10年はまさに水泳王国・見中の時代でした。


昭和11年　ベルリンオリンピックより凱旋
左より杉浦・寺田・牧野選手

陸上競技部　インターミドル・インターハイ5回制覇

陸上競技部の全国的活躍は昭和22年の全国中学校陸上大会の優勝に始まります。それまでは体育の伊藤平太郎先生が指導しており、勤労作業の２５０ｍトラックの成果は県下での上位入賞となって既に現れていました。そんな折、伊藤菊蔵先生（中9回）が昭和18年母校に戻ってきます。見中時代は棒高跳びで活躍、同級生がうらやむほどの器用な人でトラック、フィールドの各種目をなんなくこなしていました。性格は人一倍負けずぎらいで、なかなかのやんちゃものだったということです。

伊藤先生は当初水泳部に入部し、2年次に陸上競技部長の伊藤平太郎先生の薦めで陸上部に転部していました。その当時の経緯を後に次のように述べています。

僕は豊浜だから５ｍの飛び込み台から真っ逆様に飛び込むことなんか朝飯前だった。それで初め水泳部に入ったんだが2年で陸上部にかわったの。3年の終わりからちょっと軌道が逸れて4年生ではもう要注意人物。大方の先生に声をかけてもらえなくなっちゃったのよ。4年の終わり頃、当時水泳部の顧問の小林先生が、一人で鉄棒にぶら下がっていた僕に「伊藤は、鉄棒もやるね。体育の道にすすむといいよ」とおっしゃった。尊敬する先生に声をかけられた感動、感激は大変なものだったね。「日体へ行くと伊藤は成功するかもしれないよ」と言われ、ここで立ち直らなければと発奮したんです。また卒業の時、勇を鼓して職員室へお詫びと御礼にいったのよ。陸上の伊藤平太郎先生は「伊藤、技術だけでは人を指導できないよ。人間的に成長してここに戻って来い」と言われた。

『同窓会だより第13号　インタビュー』より抜粋

防風堤完成前のグランド（大正13年）－1年7ヶ月後にサッカー場と防風堤完成（大正15年3月）

そして日体大に進学、卒業後に教師として見中に赴任します。戦時下だったので軍隊式のスポーツを進めていましたが、戦後全国の高校に先だって、本格的な陸上競技の練習を始めます。（「磐南の道程」参考）

小林先生に倣って自宅に選手を下宿させて、熱心な指導を続けます。昭和21年暮れ、世間では雑炊をすすっていた時代に伊藤先生は選手4人を連れて上京し、大晦日ぎりぎりまでの1週間、日大で合宿をしたこともありました。また元日未明に見付天神社の急坂を互いに声をかけて駆け上る選手の一団の先頭には伊藤先生の姿がありました。こうした指導の成果がやがて実を結び始めます。昭和22年戦後初のインターミドル京都大会で初優勝、続く昭和23年の第1回インターハイで磐田第一高校として連続優勝しました。

昭和22・23年の総合優勝に続き、2回目の黄金期は昭和27年松本大会と昭和29年の熊本大会総合優勝。実は熊本大会試合前に旅館で食中毒を起こし選手達は下痢と高熱に悩まされていました。しかし最終日の８００ｍリレーで浜商を抑える大逆転を演じて1点差で総合優勝し、磐南魂を示したのです。伊藤先生の在職20年間に総合優勝4回、準優勝3回という偉業を成し遂げました。

そののち、昭和47年のインターハイでは佐橋保先生の指導の下、18年ぶりに全国優勝をはたし陸上王国・磐南復活をアピールします。このように尾崎・小田原精神＝労作教育による学園作りは個人の才能を生かした人づくりに引き継がれ、昭和後期、平成、令和へと受け継がれていきます。

昭和22年 インターミドル優勝

昭和29年 インターハイ優勝

昭和47年 インターハイ優勝

はぐま祭成功の裏には

生徒会長　3年　島沢　陸

「舞～吹かせむ我らの青嵐～」というテーマのもと、大変な盛り上がりを見せたはぐま祭。しかし、その裏には多くの試練がありました。

はぐま祭の7ヶ月前、私たちは、はぐま祭の準備に取り掛かりました。テーマ決めからうちわのデザイン決定までの流れは順調でした。他にもやるべきことが沢山あったのですが、この時点では全て後回しにしていました。3月を迎え、改めてはぐま祭の準備の進捗状況を確認すると、昨年より大幅に遅れていることに気づきました。2月中旬に生徒会に加入した新メンバーに全面的にカバーしてもらい、何とかはぐま祭にたどり着きました。

しかし、はぐま祭当日にもハプニングが起こりました。ポップコーンの機械が煙を上げてしまったり、ブレーカーが落ちてしまったりと想定外の出来事への対応は大変でした。それでも、はぐま祭を無事に成功できたのは、生徒会顧問の平野先生、委員会や部活動顧問の先生方、生徒の皆さん、そして当日足を運んでくださったお客様のおかげです。ここで改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

ぜひ来年も磐田南高校のはぐま祭へお越しください。

6月7日　オープニング舞台（1年生製作のテーマ旗をバックに）

生徒会長と本校キャラクターのはぐまる君

磐南に入学して

普通科　加藤未菜美（福田中学校出身）

本校に入学してから毎日が充実しています。中学校とは難度も進度も違う授業は大変ですが、クラスのみんなと教えあいながら家庭学習の内容を濃くしていこうと考えています。部活動は吹奏楽部に入部し、本校オリジナルの「BBBスタイル」の演奏に取り組んでいます。演奏を披露する機会も多いのでとても楽しく活動しています。先輩たちのように、聴衆を笑顔にする演奏を目指して、部活動も勉強も全力で手を抜くことなく頑張ります。

理数科　鈴木海紗也（みさや）（城山中学校出身）

私は今、心から磐南を楽しんでいます。私は水泳部（競泳部門）に入部しました。競泳部門は4名ですが、勉強や進路のことも相談にのってくれる頼もしい先輩たちと日々精進しています。学習面では、先生方の授業がとてもためになるので、自分に合った学習法を早く見つけたいと思っています。周囲が日々勉強しているので自然と学習に取り組む姿勢が身につきます。各行事にも力を入れて、充実した高校生活を送っていこうと思います。

平成31年度入学式（平成31年4月8日）

そろばんグランプリジャパン2019

氏原翔君　県代表として出場

7月23日㈫に神戸市の神戸常盤アリーナで行われた「そろばんグランプリジャパン2019」に本校理数科2年の氏原翔君が静岡県代表として出場した。

大会には全国各地から選ばれた339名が参加。氏原君は中学・高校生のスクール部門（125名）において日頃の練習の成果を競い合った。氏原君は「今回は結果を残すことができなかったので、来年こそは上位入賞をしたい」と雪辱を誓った。

マウンテンビュー高校にて

～マウンテンビュー研修を終えて～

2019年3月21日～31日

「リベンジ」。今回のマウンテンビュー研修の目標として掲げた言葉だ。小6でオーストラリアにホームステイした際、英語を積極的に使うことができず、大きな後悔が残ったからだ。

ホストファミリーであるBailey家は、会話が絶えることがなく笑顔であふれていた。そんな暖かい環境で過ごせたおかげで、臆せず英語を話すことができ、また一人の通訳者としても活躍できたことが何よりも嬉しく、自信に繋がり、リベンジは成功した。

高校生という今の時期に異国の文化を肌で感じることができたことは、私にとって大きな刺激になり、かけがえのない財産となった。そして、さらにスキルアップして、近い将来ホストファミリーに会いに行くという、新しい目標ができた。（3年　大野　琴音）

サンフランシスコ市内にて

大学合格状況

国立大学	現役	過年度
北海道	3	
岩手		1
東北	3	
茨城	3	
筑波	2	
埼玉	1	
千葉	2	1
東京	2	
東京学芸	4	
東京工業	2	1
東京農工	3	
横浜国立	1	1
新潟	2	1
金沢	4	1
山梨		1
信州	3	
岐阜	1	
静岡	31	3
浜松医科(医)	3	1
浜松医科(看)	5	
愛知教育	2	
名古屋	8	2
名古屋工業	4	
三重	1	
和歌山	1	
滋賀	1	
京都	5	1
京都教育	1	
大阪	5	1
神戸	1	1
奈良女子	1	
奈良教育	1	
島根		1
岡山	2	
広島	6	2
山口	1	
愛媛	1	
高知		1
九州	2	
長崎	2	1
鹿児島	1	
国立大合計	**121**	**20**

公立大学	現役	過年度
前橋工科	1	
首都大東京	1	
横浜市立	1	
都留文科	1	1
長野	1	
長野県立	1	
静岡文化芸術	3	1
静岡県立	8	4
愛知県立	1	
名古屋市立	1	
滋賀県立	1	
京都府立	2	
大阪市立	1	
大阪府立	1	
神戸市外語	2	
尾道市立	2	
北九州市立	1	
公立大　合計	**29**	**6**

主要私立大学	現役	過年度
岩手医科		1
埼玉医科		1
青山学院	3	2
慶応義塾	4	
駒澤	9	1
芝浦工業	10	6
専修	5	3
中央	9	4
東京農業	6	
東京理科	12	9
東洋	14	1
日本	10	
法政	10	
明治	9	7
立教	1	1
早稲田	2	2
聖隷クリストファー	15	
常葉	58	6
南山	10	1
名城	27	5
同志社	25	4
立命館	43	12
関西	12	
関西学院	9	1

在校生の活躍

野球部

●第101回全国高等学校野球選手権静岡大会2019

2019年7月13・20日

1回戦　磐田南　9 ― 6　清水桜が丘

2回戦　磐田南　2 ― 3　浜松工業

陸上競技部

●全国高等学校総合体育大会　感動は無限大 南部九州総体2019
（タピック県総ひやごんスタジアム［沖縄県沖縄市］）

2019年8月4～8日

女子1500m　鈴木　優花　出場

インターハイのレースを体験することで、中学との違いや今後必要とされる力について考えることができました。ありがとうございました。

鈴木　優花

●東海高等学校総合体育大会（エコパスタジアム）

2019年6月21～23日

男子棒高跳　村松　佑哉　出場

男子棒高跳　藤原　駿希　出場

女子　800m　川井唯吏奈　出場

女子1500m　鈴木　優花　5位〈全国大会出場〉

女子3000m　鈴木　優花　出場

女子400mH　金田　紗季　出場

女子400mH　松下　里帆　出場

女子棒高跳　鈴木　舞雪　出場

村松　佑哉

藤原　駿希

川井唯吏奈

金田　紗季

松下　里帆

鈴木　舞雪

水泳部

●全国高等学校総合体育大会　水球競技東海大会
（静岡　県立水泳場）

2019年7月20・21日

○予選トーナメント

磐田南　4 ― 15 大垣東

○順位決定戦

磐田南 12 ― 1 岐阜農林

磐田南　5 ― 1 稲生

〈東海5位〉

●全国高等学校総合体育大会　水球競技静岡県予選
（静岡　磐田南高校）

2019年6月22・23日

○予選リーグ　磐田南　9 ― 8　磐田西

磐田南　8 ― 4　掛川西

○決勝トーナメント　磐田南　8 ― 5　袋井商

磐田南 11 ― 14　湖　西

準優勝　〈東海大会出場〉

地学部

●日本地球惑星科学連合2019年大会高校生セッション
（幕張メッセ）

2019年5月26日

スプライト班・地震気象班・地質班がポスター発表

美術部

●第43回全国高等学校総合文化祭「2019さが総文」
（佐賀県立美術館）

2019年7月28日～8月1日

絵画部門 3年 有海　美波　全国展出品（県高文祭優秀賞）

作品名：「clear」

サイズ：F 50号（H 1167mm×W 910mm）

私の姉をモデルにこの絵を描きました。触れた水の冷たさに、自分の心までクリアになっていく、そんな静かな小川の情景です。美しく鮮やかな自然の色合いを鉛筆だけで表現するために、白と黒の微妙な明暗に気をつけました。岩や水の質感の違いに苦労しましたが、水に手を入れたその一瞬に少し空気が変わる感じを描くことができたと思います。

（有海　美波）

鉛筆による絵画作品である。水の冷たさに心まで「clear」になるような静かな小川にそっと水面を触れる女性。美しく鮮やかな自然の色合いを鉛筆の濃淡で見事に表現した秀作である。　（美術部顧問　鈴木　智久）

ビジュアル部

●第43回全国高等学校総合文化祭「2019さが総文」
（嬉野市体育館 及び 嬉野市中央体育館）

2019年7月28日～30日

写真部門

3年 大野　琴音　全国展出品（県高文祭特別賞（教育長賞））
作品名：「笑顔満開！」

3年 鈴木　まゆ　全国展出品（県高文祭優秀賞）
作品名：「勢いにのまれて」

2年 梅田　桃夏　全国展出品（県高文祭優秀賞）
作品名：「私のパパ」

2年 横山佳那枝　全国展出品（県高文祭奨励賞）
作品名：「海が呼ぶ」

全国高等学校総合文化祭の地方審査を通過した優秀な作品が308点とよみうり写真大賞の入賞作品が体育館一面に展示され、来場者の目を楽しませてくれた。

最優秀賞（文部科学大臣賞）は、被写体を正面からストレートに撮ったことで勢いと楽しさが伝わる祭の写真であった。作品のテーマや構図の工夫は本校の鈴木まゆの作品も引けを取らないとも感じた。また、奨励賞の女子高校生の体育大会の作品についても、大野琴音の作品も拮抗した力を示していると感じた。受賞作品には選ばれなかったが、本校生徒の力も受賞作品に劣るものではないので、今後も生徒自身で、上級生から下級生へ伝統を引き継ぎ、より自分らしい作品を作り上げてくれると思う。

（ビジュアル部顧問　大谷　真弓）

大野　琴音

鈴木　まゆ

梅田　桃夏

横山佳那枝

全国大会出場者

左から 鈴木優花（陸上） 大野琴音（ビジュアル） 鈴木まゆ（ビジュアル）
梅田桃夏（ビジュアル） 横山佳那枝（ビジュアル） 有海美波（美術）

加藤労務管理事務所

加藤光久（高27回）　加藤正之（高60回）

〒438-0077 磐田市国府台59-8
TEL.0538-32-7792
http://www.katouroumu.com

遠州 憩いの駅
いいとこまんぢゅう

大石 祐介（高48回）　大石 義典（高21回）

地場野菜直売&カフェレストラン
いいとこまんぢゅう
（㈱加登屋）

〒438-0002 磐田市大久保896-48
TEL.0538-38-1000　FAX.0538-38-2220
OPEN 8:30～18:00（日曜定休）
ららぽーと磐田より東へ800m

人・出合い・感動……そして発見
ホテル観世

袋井駅前　TEL.（0538）43ー1212
比那 純（高15回）

ISO9001／ISO14001認証取得
総合建設業
石川建設株式会社

磐田市今之浦5丁目1番地1
TEL.0538ー36ー0021㈹
http://www.ishikawa-cnst.co.jp

地域に密着した医療を目指します
内科・小児科　木佐森医院
院長　木佐森正樹（高25回）

〒438-0077 磐田市国府台55-1
TEL.0538-32-2555
往診応談　禁煙治療（保険可）

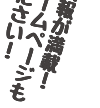
愛される お弁当　いわきゅう

鷹野　靖（高15回）

〒438-0814 磐田市気子島961
TEL 0538-36-9261　FAX 0538-37-3572

お近くの杏林堂薬局にて
皆様のご来店を
お待ちしております。

杏林堂
SUPER DRUG STORE



楽しい情報が満載！
杏林堂のホームページも
「覗くください！

http://www.kyorindo.co.jp
QRコード▲

株式会社 杏林堂薬局　〒430-7713 浜松市中区板屋町111-2 浜松アクトタワー13階
TEL（053）453-5111㈹　FAX（053）453-5112

will　Where there's a will, there's a way.
意志のある所には道がある。
株式会社 will　I ♥ Famima

代表取締役
村松 明久［高28回卒］
ファミリーマート磐田駅前店
〒438-0078
静岡県磐田市中泉627-1
TEL 0538-39-5023
FAX 0538-37-0765

■ファミリーマート 浜松白鳥店
〒435-0002 浜松市東区白鳥町101-2
TEL.053-423-4211

■ファミリーマート 磐田駅前店
〒438-0078 磐田市中泉627-1
TEL.0538-39-5023

■ファミリーマート 浜松小池町店
〒435-0056 浜松市東区小池町65
TEL.053-432-5751

■ファミリーマート 掛川駅南店
〒436-0028 掛川市亀の甲2-2-17
TEL.0537-62-1550

■ファミリーマート 袋井月見の里店
〒437-0125 袋井市上山梨3-18-1
TEL.0538-30-1480

■ファミリーマート 吉田町片岡店
〒421-0303 榛原郡吉田町片岡949-9
TEL.0548-34-5171

■ファミリーマート 浜松鴨江店
〒432-8023 浜松市中区鴨江1-10-3
TEL.053-457-7202

■ファミリーマート 岡崎細川町店
〒444-2149 岡崎市細川町字長原52-59
TEL.0564-66-8101

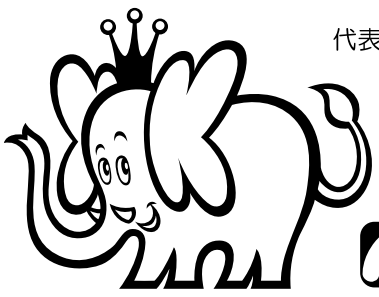
■ファミリーマート 岡崎両町店
〒444-0023 岡崎市両町2-17
TEL.0564-65-3708

■ファミリーマート 岡崎日名本町店
〒444-0916 岡崎市日名本町2-18
TEL.0564-65-3431

■ファミリーマート 豊田高岡本町店
〒473-0922 豊田市高岡本町中部350-4
TEL.0565-51-2280

■ファミリーマート 豊田生駒町店
〒473-0928 豊田市生駒町東山718-1
TEL.0565-59-1735

創業85年



代表取締役社長　金原　一平（高16回）

静岡県磐田市見付1963-11
0538-35-5404（本社）

制服のキンパラ

名古屋・岐阜・津・浜松・静岡・沼津 全15校

学校法人 名古屋大原学園

最高顧問　杉 山 孝 男（高15回）

本　部　〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-20-8
浜松校　〒430-0928 浜松市中区板屋町101-8　TEL.053-455-4408

処方せん受付　キヨーレオピン　ササヘルス

国府台薬局

磐田市国府台94-3　TEL 35-2175　FAX 33-0770
鈴木麻里奈（高38回）

和の心　贈ります

かしゆう
菓子勇本店

磐田ものがたり

6代目店主　山田 佳幸（高28回）

磐田市中泉坂上町　TEL・FAX 0538-32-3340　ホームページ▶kashiyu.jp

あなたの夢に、追い風を。
浜松いわた信用金庫

冬 体育館や工場でのスポット暖房に最適
安全性が高い薄型暖房機
・ヤケドしにくい植毛塗装
・静音性，省エネ性バツグン

遠赤外線灯油ヒーター
SE150α SE200α
静岡製機株式会社

夏 熱中症対策に！
水の力でマイナス5℃の涼風

CO2削減商品 RKF series 506・406・305
気化式冷風機 保湿 省エネ 冷風
RKFシリーズは小さな電力で熱中症対策できる商品です
産機企画課 〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300
TEL.0538-23-2825 FAX.0538-23-2890

さわやかな環境をクリエイト
BANNAN
磐南浄化槽株式会社
代表取締役社長
木戸 智弘（高34回）
磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

株式会社 遠州日石
車検の窓口

検索
代表取締役社長 鈴木 裕司（高19回）
車検の窓口責任者 渡辺 交司（高46回）
浜松市東区和田町811（自動車街 宮竹交差点）
TEL.0120-976-544 営業時間：9:00～20:00

ブランドリサイクル
PickUP
宮竹店・西伊場店・磐田店・掛川店・宮竹バザール店
藤枝高洲店・静岡登呂店・登呂バザール店
金・ブランド買取専門店
KINBURRY キンバリー
浜松高林店・藤枝インター店
静岡SBS通り店
株式会社 ピックアップジャパン
本部 磐田市今之浦3－4－2
URL：http://www.pickup-japan.com

静岡県戸建住宅建築実績
おかげさまで 17年連続No.1
セキスイハイム東海
〒430-7725 浜松市中区板屋町111-2 アクトタワー25F
フリーコール 0120-000-816　816t　検索

創業六六年 とん汁の老舗
桝形（ますがた）
代表取締役 粟倉浩二（高23回）
〒438-0838 静岡県磐田市小立野343
TEL.0538-35-4344 FAX.0538-35-4568

TK TANIKO 株式会社タニコー
あなたの大切な人を救う緊急救助用

ラクラク39バール RAKURAKU 39 BAR Made in Japan
高33回 水谷眞啓 高33回 青山光男（旧姓 金原）
磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880（代） FAX 0538-67-1881
mizutanim@taniko.co.jp http://www.taniko.co.jp

ネジ 小物部品・締結部品・精密ネジ部品
ISO9001 ISO14001 認証取得
株式会社 マルイチ
代表取締役会長 安間信義（高7回）
代表取締役社長 安間浩彦（高33回）
本社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540 TEL（053）441-4684㈹ FAX（053）441-3452
ホームページ http://www.ohha.net/maruichi/
半田山工場 〒431-3125 浜松市東区半田山四丁目11-1 TEL（053）545-9735

総合建設業
天龍土建工業株式会社
代表取締役 長谷川 智彦（高34回）
本社 〒431-3314 浜松市天竜区二俣町二俣1382-2
TEL〈053〉926-2156㈹ FAX〈053〉926-2160番

TKC コンピュータ会計
山田会計事務所
税理士 山田敏康（高24回）
〒437-1203 静岡県磐田市福田453－8 TEL（0538）55-2115 FAX（0538）55-3484

長尾 仁 税理士事務所
税理士 長尾 仁（高20回）
〒438-0086 磐田市見付3719-1
TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735

母校の歩み知る 貴重な資料 届く

7月3日、青島常盤（ときわ）さん（元磐南文化協会理事長・高21回）が『南高校の歴史を語る』（昭和43年6月）と題するガリ版刷りの冊子を届けてくださった。

高校3年時のはぐま祭HR展で、級友である江間富夫さんの発案により企画・作成したもので、尾崎校長・小田原教頭ほか歴代校長、当時の教員・生徒にアンケート調査を実施しまとめたものである。尾崎校長の開校時の式辞などが掲載され、歴代校長が記した教育理念はその時代を投影する貴重な資料である。学校の様子がそれぞれの立場から語られ、母校への強い思いが感じられる。

『南高校の歴史を語る』を手にする青島さん（高21回）

青島さんは「半世紀ぶりにこの冊子に光が当たり、とっておいてよかった」と喜んでいる。

7月6日には、高田岩男さん（元東京都立高校長：高2回）が、校友會新聞部発行「一高タイムズ」や文芸部誌『蟻の塔』等、当時の学校生活や生徒の関心事がよく分かる貴重な資料を多数お持ちくださった。都築渉先生（数学）が大切に保管されていたものであるとのことである。

当時は、陸上競技部が全国大会で総合優勝するなど大活躍していたが、文芸部・演劇部のほか、地学部・生物部・写真部等の文化系諸部活動も活発に活動していたことが諸資料から窺われる。

（百周年記念事業準備委員　永田　淳　高27回）

「一高タイムズ」（昭和23年6月10日創刊号）

文化部の様子を語る高田さん（高2回）

資料提供のお願い

～『百年史』編纂事業～

学校新聞、生徒会新聞、部活動誌、文集、生徒手帳、制服、制帽、校章、成績通知票、学校行事パンフレット、教科書などなど。見中、一高、磐田南高、それぞれの時代の教育や学生生活を知る手がかりとなる資料の提供をお願いします。

いただいた資料は、校史編纂の参考とするとともに、記念行事等における展示資料としても活用させていただきます。

問い合わせ先
〒438-8686　磐田市見付3084
磐田南高校　同窓会事務局　TEL.0538-32-0524
（永田/月・水・金　午前中）
事務室　TEL.0538-32-7286
（鈴木英夫・芳野）

ポーランドで JAPANART展

高24回生の3人

5月9日から6月2日の間、ワルシャワ市の首都文化教育センター「Stara Prochownia」において、3人展「眼差しの先JAPANART展」が開催された。この展覧会は、村松孝記さん（水彩画）、寺田敬児さん（書）、村松正之さん（インスタレイション）が日本の芸術の紹介と文化交流を目的として開催したものである。3人は高24回の同級生で、異なる分野の芸術家として歩みながらも、創作に対する強い意志は共通している。

2019年はポーランド日本国交樹立100周年にあたり、展覧会はその記念認定事業の認定を受けた。5月9日の開会レセプションには、駐ポーランド大使、ワルシャワ市教育部長をはじめ文化・芸術の関係者約120名が出席した。

展示会場となった首都教育文化センター（ワルシャワ市）

会期中の入場者数は凡そ1200名を数え、もともと関心の高い来場者が多いこともあってか、「素晴らしい」、「深い感銘を受けた」など称賛の言葉が多数寄せられた。「ポーランドは東欧の中でも芸術に対する思いが深く、作品の根底に流れる日本独特の感性を感じてもらえたのだろう」とは3人の弁。また、ポーランド帰国3人展を袋井市・月見の里学遊館において、9月16日～9月22日の間に開催し、好評を博した。

（ポーランド展実行委員長　鈴木滋彦　高24回）

会期中は1200名ものポーランド市民が鑑賞に訪れた

（左から）村松正之さん、村松孝記さん、寺田敬児さん

令和元年度　各種当番年次

卒業10周年	高校60回生（新年次役員選出）
卒業20周年	高校50回生（総会担当）
卒業30周年	高校41回生（慰霊祭担当）
卒業40周年	高校31回生（同窓会に資金援助）
卒業50周年	高校22回生（母校に資金援助・同窓会より銅メダル贈呈）
卒業60周年	高校12回生（同窓会より銀メダル贈呈）
卒業70周年	高校２回生（同窓会より金メダル贈呈）

同窓会役員紹介

会　長	浅羽　浩（高22回）	
副会長	仲川勝彦（高16回）	鈴木裕司（高19回）
	谷口智子（高21回）	鈴木一雄（高24回）
	鈴木万里子（高25回）	加藤光久（高27回）
監　査	長尾　仁（高20回）	山田敏康（高24回）

令和元年度　会務計画

H31	4/8	母校入学式
R1	5/10	第１回役員会・役員と校内幹事との懇親会
	5/31	第2回役員会
	6/15	評議員会　はぐま会館
		卒業50周年記念事業（高校22回） 母校に資金援助（20万円）
	7/19	第３回役員会
	8/17	総会前日打合せ・尾崎先生墓参 （役員、当番年次、校内幹事）
	8/18	慰霊祭（高41回担当）　はぐま会館
		総会（高50回担当）　磐田グランドホテル 卒業40周年事業（高31回） 同窓会に資金援助20万円
	10/10	同窓会だより第41号発行
	11/22	第４回役員会、総会当番引継ぎ会 （高50、51回）
R2	2/7	第５回役員会、評議員会懇親会
	2/28	高校第72回　同窓会入会式
	3/2	高校第72回　卒業式

事務局より報告

5月、「令和」の時代が幕を開けました。夏の初めは冷夏が心配されましたが、後半は暑さが戻るとともに台風も接近するなど自然の猛威に直面することもありました。こうした中、野球の大会も順延などありましたが、勝利の校歌を高らかに歌うこともできました。

今年度の同窓会総会、慰霊祭もつつがなく終了し、関係の当番年次の皆様には大変お世話になりました。また、創立百周年も近づいてまいります。今後とも同窓会発展のため、皆様の熱い想いを賜りますようお願い申し上げます。

校内幹事長　鈴木英夫（高33回）

編集室より

令和の新時代を迎えました。「同窓会だより」も、昭和・平成・令和と歴史を積み重ねてきました。

令和元年の第41号には、嬉しいご報告が沢山載っています。長年の悲願であった、現在地に校舎改築が決定し、設計がはじまること、令和4年の創立百周年に向け、母校の「百周年記念史」の編集委員会が発足したことなど、いち早く全国の同窓生にお伝えし、共に喜び合いたいと思います。

発行にあたり、ご寄稿、取材にご協力くださいました同窓生の皆様、そして在校生の皆さんに、心より、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

編集委員長　谷口智子（高21回）

編集委員

浅羽　浩（高22）仲川勝彦（高16）
鈴木裕司（高19）谷口智子（高21）
鈴木一雄（高24）鈴木万里子（高25）
加藤光久（高27）芳野博之（高35）

平成30年度　磐田南高校同窓会　一般会計決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

【収入の部】（単位：円）

科　目	予算額	決算額	増　減	備　考
同窓会入会金	4,800,000	4,800,000	0	平成30年3月卒業生320名×15,000円
預金利息・配当金	35,000	32,702	△2,298	
寄付金	200,000	210,000	10,000	卒業40周年寄付金（高30回）、高15回倉田様寄付
雑収入	300,000	303,720	3,720	同窓会報広告代、同窓会総会メダル代
前年度繰越金	146,874	146,874	0	
合　計	5,481,874	5,493,296	11,422	

備考：平成31年3月卒業生同窓会入会金　4,710,000円（314名×15,000円）は2月15日に入金されているが、令和元年度分収入とする。

【支出の部】＊各科目間の流用を認める。（単位：円）

科　目	予算額	決算額	増　減	備　考
会務費	1,357,000	1,263,495	93,505	会議費、会総会・慰霊祭費、支部総会運営費、慶弔費、事務費
事業費	4,010,000	4,000,178	9,822	同窓会報発行費、卒業記念品代、教育振興費、諸費
予備費	114,874	200,159	△85,285	マウンテンビュー懇親会、銀メダル制作費
合　計	5,481,874	5,463,832	18,042	